

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

※市長コメントあり

それでは、7月の月例記者会見の資料について説明いたします。

【市長】

資料No.1 「運転を考える認知症カフェ」についてです。

7月8日(水)に「運転を考える認知症カフェ」を裾野市福祉保健会館で行います。

詳細につきましては、介護保険課 葛城主任保健師から説明します。

【介護保険課 葛城主任保健師 説明】

介護保険課の葛城です、「運転を考える認知症カフェ」についてご説明します。

超高齢化社会を前に、高齢者の運転に対する社会の関心は、近年ますます高まっています。しかし、運転免許を返納するということは、高齢者の生活の質を低下させ、認知症や要介護リスクを高めることもわかって

います。

安全に運転ができる間は、高齢者の事故の特徴や、特に気をつけることを意識しながら、無理のないように運転を続ける。そして、運転が難しくなってきたら、自分にあった次の移動方法を前向きに選択する。そのためには、今のうちから、運転を卒業した後の生活のイメージを持っておくことが重要です。

そこで、広く市民に「運転」や「移動」について考えてもらえるよう、今年度からの新規事業として、「運転を考える認知症カフェ」を開催します。

認知症カフェとは、認知症について関心がある人が誰でも集える交流の場です。この事業は年 2 回の開催で、1 回目となる今回は、「教えて！自動車学校の先生」と題し、市内自動車学校の先生に、「高齢者の事故の特徴と気をつけること」についてお話をしていただくほか、認知機能検査を無料で体験できます。この認知機能検査は、75 歳以上の方が運転免許の更新の際に実際に受けるものです。

相談会では、地域包括支援センター職員が個別の相談に応じます。

運転を考える認知症カフェは、7 月 8 日水曜日午後1時 30 分から午後3時まで、場所は裾野市福祉保健会館で開催します。

なお、第 2 回目は「運転寿命の延伸のためにできること・移動を考える集い」として、令和 8 年 1 月 31 日(土)に開催予定です。

初めての試みですがぜひ取材をお願いします。

【市長】

資料No.2「すそのっ子お出かけ応援プロジェクト」についてです。

子育て世代の皆さんを応援する新たな取り組みとして、「すそのっ子お出かけ応援プロジェクト」についてご報告します。

このプロジェクトは、アイリスオーヤマ株式会社様が、富士裾野工場で赤ちゃん用紙おむつの生産を開始されたことを契機に、裾野市へ紙おむつをご寄附いただいたことから始める取組です。

ご寄附いただいた紙おむつを活用し、こども家庭センター「すこっぴ」にて、紙おむつとおしり拭きを無料で提供する実証実験を令和 7 年 7 月下旬より開始いたします。

乳幼児を連れての外出は、おむつや着替え、飲み物やおやつなどを準備して、保護者の皆さんにとって大きな負担となることがあります。安心しておむつ交換ができる環境を整えることで、施設の利用促進と子育て世帯の外出支援につなげてまいります。

また、この実証結果をもとに、他の公共施設への展開や事業の拡大も視野に入れております。

さらに、市民の皆さまからの紙おむつの寄附も受け付けます。サイズ

アウトなどで使わなくなった未開封の紙おむつ活用させていただきます。

裾野市は、行政・地域・企業が一体となって、子どもたちの健やかな成長を支える取り組みを進めてまいります。

【市長】

資料No.3「せせらぎ児童公園リニューアルオープン」についてです。

7月30日水曜日の午前10時から、せせらぎ児童公園のリニューアルを記念して式典を行います。

詳細につきましては、みどりと公園課 原係長から説明します。

【みどりと公園課 原係長】

建設部みどりと公園課の原です。

資料No.3をご覧ください、私からは「せせらぎ児童公園リニューアルオープン式典」について説明します。

裾野市では、せせらぎ児童公園内に新た整備する「芝生のひろば」のオープンを記念し、7月30日水曜日の午前10時から記念式典を開催します。式典は、一般の方もご覧になれます。場所は、「芝生のひろば」を予定しています。

式典では、テープカットを行い、公園の解放時には子ども家庭センター「すこっぴ」と連携し、お子様向けのイベントの開催を予定しています。

イベントは、公園内での魚のつかみどりや、すこっぴ内でのアイロンビーズ教室、裾野市のマスコットキャラクター「すそのん」の登場を予定しています。

せせらぎ児童公園は、小さな小川やお子様向け遊具、トイレ、東屋がある自然に囲まれた公園です。

昨年度、市立水泳場跡地を利用した公園拡張整備を開始し、(造成工事の後)、今年の2月に、一部はボランティアの皆さんや地元の小・中学生の協力をいただきながら、裾野産の野芝を張るなど、地域とのつながりが強い公園です。

(その後、芝生の養生期間を経て、この度のオープンを迎えます。)

せせらぎ児童公園は、今後も、天気良ければ公園で、暑い日や雨の日は「すこっぴ」というような形で、どのような天候でも遊べる「市民の憩いの広場」としての整備を目指しています。

最後になりますが、夏休み中でもありますので、ぜひ多くの方に公園を訪れていただき、大きな芝生のひろばで自由に遊びまわっていただければと思います。

【市長】

資料No.4「裾野市×TOYOTA GAZOO Racingスーパーフォーミュラ セタまつり」についてです。

裾野市では、トヨタ自動車株式会社様とともに、モータースポーツと地域をつなぎ、相互の魅力の発信と普及に、日々取り組んでいます。

このたび、2025 年全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦・第7戦の開催に先駆け、同社との共催で、「スーパーフォーミュラ セタまつり」を裾野市民文化センターで開催します。

詳細については、産業観光スポーツ課の川口主事から説明します。

【産業観光スポーツ課 川口主事】

産業観光スポーツ課の川口です。

7月6日日曜日に開催される「裾野市×TOYOTA GAZOO Racingスーパーフォーミュラ セタまつり」についてご説明します。

本イベントは、7月 19 日土曜日、20 日日曜日に小山町の富士スピードウェイで開催される全日本スーパーフォーミュラ選手権に先駆け、裾野市とトヨタ自動車の共催でプロドライバー等とのファンミーティングイベントを開催するものです。

日時は、7月6日日曜日の午前11時から午後5時で、会場は市民文化

センター1階の多目的ホールです。七夕の雰囲気を楽しみながら、ドライバートークショー、サイン会、ドライバーなりきり体験、e-Motorsports、プロドライバーとのゲーム対決、地元グルメやスイーツも楽しめ、入場無料のイベントとなっています。

また、全日本スーパーフォーミュラに関しては、主催者である株式会社日本レースプロモーションと令和6年6月にモータースポーツ振興・地域活性化等に係る連携協定を締結しておりますので、引き続き日本レースプロモーションの中野様からスーパーフォーミュラのご紹介をしていただきます。

最後に、本イベントを主催するトヨタ自動車株式会社の諏訪部様から、イベントのご紹介をしていただきます。

【株式会社日本レースプロモーション】

株式会社日本レースプロモーション マーケティング部 アシスタントマネージャーの 中野 雄介でございます。

日本レースプロモーションでは、国内最高峰で最速のフォーミュラカーレースシリーズである全日本スーパーフォーミュラ選手権を運営しています。

昨年には、自動車関連産業と長年にわたり深いかわりがある裾野

市と、モータースポーツの振興と地域活性化等を目的とした、地域連携パートナーシップ協定を締結したところです。

スーパーフォーミュラは、F1 に次ぐ速さをもつ、アジア最速レースです（実質世界で 2 番目に速い）。モータースポーツ業界として唯一、皇室の賜杯を賜っているレースとなります。

すべてのドライバーが同条件のマシンで戦うため、ドライバーの実力やチームの戦略が勝敗につながるのがスーパーフォーミュラの魅力のひとつ。モータースポーツになぜ「スポーツ」がつくのか、ご体感いただけたと思います。

7 月の富士スピードウェイでのレースでは、時速 300km を超えるドライバーたちの熱いバトルをお楽しみいただけます。

【トヨタ自動車株式会社】

トヨタ自動車株式会社 GR モータースポーツ事業部 GT 事業室 スーパーフォーミュラ担当の諏訪部万里子でございます。

今回のイベントでは、スーパーフォーミュラで活躍するプロドライバーの坪井翔選手・大湯都史樹選手の 2 名が来場します。坪井選手は、昨年のチャンピオンであり、国内最速、日本最強の呼び声が高まるトップドライバーとして、連覇を狙っています。

モータースポーツ業界を盛り上げるべく、イベントの企画なども積極的にを行い、若い世代を中心に多くの人に支持される大湯選手は、7月の富士大会で悲願の優勝を目指しています。

イベントでは、ドライバートークショーだけでなく、グランツーリスモやミニ四駆の対決など一緒に楽しめるコンテンツも満載なので、ぜひ遊びに来ていただけると嬉しいです、多くの魅力を持つドライバー2名の個別取材やレース時などの密着取材も可能です。できる限りみなさまの希望に沿った形での取材の場をセッティングしますので、お気軽にご相談いただけると嬉しいです。

ぜひ、事前の告知と当日の取材をお願いいたします。

【市長】

資料No.5「第4回富士裾野トラックミート」についてです。

昨年に引き続き、「第4回富士裾野トラックミート」を、7月19日土曜日に裾野市運動公園陸上競技場にて開催します。

この大会は小学生を対象とした公認記録会と「関東大学強豪校」が参加する公認記録会の2部構成となっています。

小学生の記録会には、静岡県内の小学生が参加予定です。

そして、大学生の部には、亜細亜・創価・法政・明治大学など8校の関

東大学強豪校が参加予定です。

裾野市では、陸上のスポーツ合宿を中心にスポーツツーリズム事業を推進してきました。本大会を開催することにより、地域の子どもたちが学生トップアスリートの走りを直接見るができる機会を創出するとともに、本大会に参加する大学に裾野市の魅力を PR し、さらなる準高地トレーニング合宿誘致につなげていくことを目的に開催いたします。

準高地トレーニングができるまち「裾野」に、多くの「関東大学強豪校」のトップアスリートが訪れる一日になります。当日の取材を是非よろしくお願いいたします。

【市長】

資料 No. 6「スパルタン／Mt. FUJI SUSONO OUTDOORS SPORTS FESTIVAL」についてです。

アメリカ発、世界最大の障害物レース「スパルタン」が、富士山麓の準高地環境下である当市のスノーパークイエティで、7月19日土曜日に開催されます。スパルタンは、世界40か国、国内では5か所で開催されている人気のレースです。

裾野市での開催は、令和5年度から引続き3回目となります。

また、スパルタンに合わせて、Mt.FUJI SUSONO OUTDOORS SPORTS FESTIVAL と題して、レース参加者・来場者のおもてなしのため、体験型スポーツコンテンツ・飲食ブースの出店、市外から来場される皆様へ、裾野市の観光・スポーツツーリズムのPRを行います。

昨年度は、約 3,000 人がレースに出場し、また会場全体では 4,500 人が訪れてアウトドアのイベントを楽しんでいきました。

ぜひ、事前の告知と当日の取材をお願いいたします。

【市長】

資料 No. 7 「令和7年度富士山すその阿波おどり」についてです。

富士山すその阿波おどりが8月16日土曜日に、平松新道線を一部車両通行止めして開催します。

詳細は、産業観光スポーツ課の杉山主任より説明します。

【産業観光スポーツ課 杉山主任】

産業観光スポーツ課の杉山です。

令和7年度富士山すその阿波おどりについてご説明します。

本イベントはコロナ以降、規模を縮小しており、令和5年度は日中に裾野駅前ロータリーを会場に開催されました。昨年度は残念ながら台風の

ため中止となりましたが、今年度は、駅前通りの平松新道線の一部を通行止めして、時間や規模を拡大して開催することになりました。

イベントの概要は、チラシの裏面をご覧ください。

参加連は地元連5連を中心に、招待連も参加する予定です。阿波おどり以外にも、キッズダンスステージや縁日ブースなども予定されています。

また、会場にはマルシェ「はじまりの森」や、商店街、協賛企業などの地元店舗の出店も予定されており、夏のお祭り気分を盛り上げます。

阿波おどりの楽しさや魅力をお届けするだけでなく、地域の魅力やコミュニティの気運の醸成も期待できます。

ぜひ事前の告知と取材をよろしくお願いいたします。